

# 麻酔科

## (スタッフ)

部長 : 宇野 太啓  
 副部長 : 油布 克巳  
           : 木田 景子  
           : 西田 太一  
           : 甲斐 真也  
           : 金ヶ江 政賢 (2021. 3月まで)  
 主任医師 : 橋口 裕次朗 (2021. 4月から)

## (診療実績)

麻酔科管理症例数は2,772件で、前年の2,464件より308件の増加となりました(図)。これは精神科の全麻下電気痙攣療法が本格的に始動したためです。

麻酔科管理症例の内訳は、全身麻酔2,622例、全身麻酔以外150例でした。麻酔法の内訳は表1のとおりです。麻酔科管理症例のうち予定手術(締め切り後も含む)は2,417例、緊急手術は355例でした。緊急手術の全麻酔科管理症例に占める割合は前年(10.9%)より増加して12.8%となっております。

特殊手術については、心・血管手術が39例(前年42例)、新生児手術25例(同18例)、食道がん手術11例(同4例)、開頭手術41例(同36例)、脊椎手術48例(同48例)、胸腔・縦隔手術135例(同115例)でした。人工心肺を用いたものは33例(前年32例)、分離肺換気を行ったものは141例(同110例)でした。2020年12月からは精神科の電気痙攣療法が始まり、2021年は延べ144例(同2例)でした。表2に麻酔科管理症例の重症度別内訳を示します。ASA-PS 3以上の重症例は18.4%であり、前年と同様です。

ICU管理に関してはICU部のページ(P.77)で示します。

ペインクリニックに関しては、外来診療は行っていませんが、院内での疼痛管理の相談には応じています。

## (今後の方向性)

2021年は4月より麻酔科専門医6人体制になり、当直明けの半日休が可能になりました。2021年1月からは、週1回火曜日に大学病院から麻酔の応援を受けることになりました。

重篤な合併症のある患者でも、注意深い麻酔管理とICUでの絶妙な術後管理で無事手術を完遂させて、患者に信頼される病院になるよう貢献します。

外科系の各科が予定手術はもちろん、緊急手術もストレスなく行えるような環境を整えます。

救急救命士の挿管実習病院として大分の救急のレベルアップに貢献します。

多くの研修医に麻酔科の仕事に興味をもってもらい、後期研修に麻酔科が選ばれるように努力します。

(文責：宇野太啓)

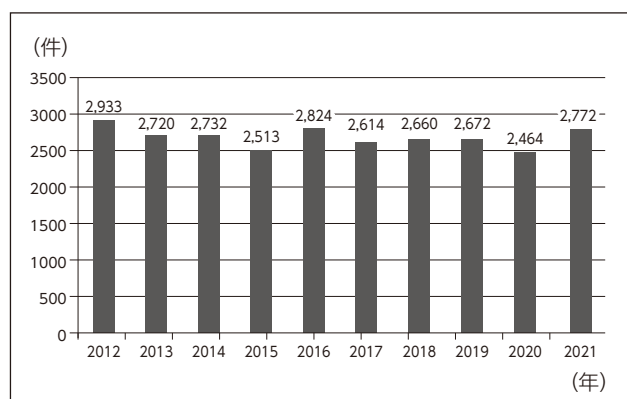


図 麻酔科管理件数の推移

表1 麻酔法内訳 (単位：件)

麻酔法	2020年	2021年
全身麻酔(吸入)	1,751	1,782
全身麻酔(TIVA)	75	172
全身麻酔(吸入)+硬・脊、伝麻	591	555
全身麻酔(TIVA)+硬・脊、伝麻	44	113
脊椎・硬膜外併用麻酔(CSEA)	2	1
硬膜外麻酔	0	1
脊椎麻酔	1	2
その他(電気痙攣療法の鎮静など)	0	146
計	2,464	2,772

表2 重症度別麻酔科管理症例

ASA-PS	1	2	3	4	5	6
予定	590	1,417	408	2	0	0
緊急	95	161	91	8	0	0
計	685	1,578	499	10	0	0